

本資料は、投資家/ビジネスパートナーの皆様からのご要望に応えるため、アストラゼネカ英国本社（AstraZeneca PLC）が2024年7月25日に発表した、[2024年上半期および第2四半期業績発表](#)の一部を日本語に翻訳し、参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。本リリースには、本邦未承認および国内と異なる適応の情報を複数含みます。

AstraZeneca

2024年7月25日

2024年上半期および第2四半期業績

～堅調な成長に基づき 2024年通年ガイダンス上方修正、

売上収益とコア EPS でいずれも CER¹ベース 10%台半ばの増加見込み～

収益および EPS の概要

	2024年 上半期	増減 (%)		2024年 第2四半期	増減 (%)	
	100万ドル	実績	CER	100万ドル	実績	CER
- 製品売上	24,629	15	18	12,452	14	18
- アライアンス収益	939	50	50	482	42	42
- 協業収益	49	(78)	(78)	4	(98)	(98)
売上収益	25,617	15	18	12,938	13	17
報告ベース EPS	\$2.65	13	23	\$1.24	6	15
コア ² EPS	\$4.03	(1)	5	\$1.98	(8)	(3)

2024年上半期財務業績

（伸び率は恒常為替レートベース）

- 製品売上が 18%増加し、提携医薬品によるアライアンス収益が引き続き増加したことにより、売上収益は 18%増の 256 億 1,700 万ドルを達成
- オンコロジー領域の売上収益は 22%増、循環器・腎・代謝疾患領域（CVRM）は 22%増、呼吸器・免疫疾患領域（R&I）は 22%増、希少疾患領域は 15%増
- コア製品売上総利益率³は 82%
- コア営業利益率は 33%
- コア税率は 20%
- コア EPS は 5%増の 4.03 ドル。コア EPS の伸び率が売上収益の伸び率を下回ったのは、主に前年に計上した利益、特に *Pulmicort Flexhaler* の米国における権利売却による利益 2 億 4,100 万ドル（2023 年第 1 四半期）およびベイフォータスの契約条件更新に関連する利益 7 億 1,200 万ドル（2023 年第 2 四半期）に起因
- 中間配当は 7 セント増となる 1.00 ドル（77.6 ペンス、10.79 スウェーデン・クローナ（SEK））
- 2024 年通年ガイダンスを引き上げ、売上収益およびコア EPS は CER ベースで 10%台半ばの増加見込み（前回、2 桁台前半から 10%台前半）。ガイダンスの引き上げにおいて協業収益の増加は想定していない

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオのコメント

「2024 年上半期の力強い成長と、当社医療用医薬品に対する継続的な需要を踏まえ、2024 年通年の売上収益とコア EPS の見通しを引き上げます。

5 月の投資家向け説明会で、当社は 2030 年までに売上収益 800 億ドルを実現するという新たな意欲的な目標を発表しました。これは、既存品と開発後期パイプラインの医療用医薬品から見込まれる大幅な成長ポテンシャルを明確に反映したものです。今年すでに、治療プラクティスを変えうる 5 つの有望な第 III 相試験の結果を発表しており、これらは当社の成長に大きく寄与すると期待されます。

年間を通じ、当社は抗体薬物複合体、二重特異性抗体、細胞療法および遺伝子治療、放射性コンジュゲート、肥満症薬など革新的な技術で、医療の希望となる進化を達成してきました。これら全てが、2030 年を越え、当社の成長を飛躍させていく可能性があります」。

前回の業績発表以降の主なマイルストーン

- 筋層浸潤性膀胱がんにおけるイミフィンジと化学療法の併用（NIAGARA）、未治療のマントル細胞リンパ腫におけるカルケンス（ECHO）、HR 陽性 HER2 低発現転移性乳がんにおけるエンハーツ（DESTINY-Breast06）の有望な臨床試験結果
- ミスマッチ修復機能欠損を有する原発性進行または再発子宮体がんに対するイミフィンジと化学療法の併用とその後のイミフィンジ単剤療法（DUO-E）の米国での承認。バイオマーカー陽性、エストロゲン受容体陽性、HER2 陰性の進行性乳がんにおけるトルカブとフェソロデックスの併用（CAPItello-291）、および EGFRm NSCLC の 1 次治療におけるタグリッソと化学療法剤の併用療法（FLAURA2）の欧州での承認。EGFRm NSCLC の 1 次治療におけるタグリッソと化学療法との併用療法（FLAURA2）の日本および中国での承認

ガイダンス（業績予想）

製品売上およびアライアンス収益の堅調な成長により、2023 年通年の平均為替レートを基にした CER ベースで、2024 年通年の売上収益およびコア EPS に関するガイダンスを引き上げます。

売上収益は、10%台半ばの増加を見込む
(前回 2 桁台前半から 10%台前半の増加)

コア EPS は、10%台半ばの増加を見込む
(前回 2 桁台前半から 10%台前半の増加)

- ガイダンスの引き上げにおいて協業収益の増加は想定していない（前回は、大幅な増加を想定）

- その他営業収入は大幅に減少する見込み（2023 年通年業績には、*Pulmicort Flexhaler* の米国における権利売却による利益 2 億 4,100 万ドル、およびベイフォータスの契約条件更新に関連する一時的な利益 7 億 1,200 万ドルが計上されていた）
- コア税率は 18～22%となる見込み

当社は、買収関連負債から生じる公正価値調整、無形資産減損費用、訴訟和解引当金等、報告ベースの業績の重要な要素を確実に予測することはできないため、報告ベースのガイダンスを提供することはできません。[本発表](#)の最後にある将来予測に関する注意事項をご参照ください。

為替の影響

仮に 2024 年 7 月から 2024 年 12 月までの為替レートが 2024 年 6 月の平均レートで推移した場合、2024 年通年の売上収益は、CER ベースの業績と比較して 1 桁台前半のマイナス影響、コア EPS は 1 桁台半ばのマイナス影響を受けると予想されます。為替レートに関する当社の感度分析を [Table 17](#) に示します。

Table 1 : 2024 年第 2 四半期売上収益のパフォーマンスの主な要素

収益項目	増減 (%)			
	100 万ドル	実績	CER	
製品売上	12,452	14	18	
アライアンス収益	482	42	42	- エンハーツは 3 億 4,400 万ドル (2023 年第 2 四半期 : 2 億 5,500 万ドル) - テゼスパイアは 1 億 400 万ドル (2023 年第 2 四半期 : 6,200 万ドル)
協業収益	4	(98)	(98)	2023 年第 2 四半期は COVID-19 mAbs の 1 億 8,000 万ドルを含む
売上収益	12,938	13	17	

治療領域	増減 (%)			
	100 万ドル	実績	CER	
オンコロジー	5,331	15	19	世界的に堅調な需要により、タグリッソの売上は 8% (CER ベースで 12%) 増、1L CLL でリーダーの座を維持するカルケンスは 21% (CER ベースで 22%) 増。エンハーツの売上収益は 46% (CER ベースで 49%) 増
CVRM	3,160	18	22	フォシーガの売上は 29% (CER ベースで 32%) 増、ロケルマは 36% (CER ベースで 41%) 増
R&I	1,905	23	26	ビレーズトリの売上は 44% (CER ベースで 47%) 増。サフネローは 65% 増、テゼスパイアは 97% (CER ベースで 2 倍超) 増、シムピコートは 20% (CER ベースで 25%) 増
V&I	119	(57)	(53)	- V&I の売上収益減少は、主に COVID-19 mAbs の協業収益減少に起因 - ペイフォータスの収益は 3,500 万ドル (2023 年第 2 四半期 : 200 万ドル) で、シナジスの 600 万ドル減少を十二分に相殺
希少疾患	2,147	10	14	- ソリスの売上 14% (CER ベースで 8%) 減により一部相殺されるものの、ユルトミリスの売上は 33% (CER ベースで 36%) 増 - ストレンジックの売上は 13% (CER ベースで 14%) 増、コセルゴは 43% (CER ベースで 45%) 増
その他医薬品	276	(11)	(5)	
売上収益	12,938	13	17	

地域別売上	増減 (%)			
	100 万ドル	実績	CER	
米国	5,571	17	17	
新興国市場	3,386	9	18	
-中国	1,630	13	18	
-中国以外の新興国市場	1,756	5	18	
欧州	2,732	24	24	
その他既成市場	1,249	(5)	6	
売上収益	12,938	13	17	

主要な提携医薬品

- 第一三共株式会社（第一三共）とアストラゼネカが計上したエンハーツの合計売上高は、2024 年上半期に 17 億 7,200 万ドル（2023 年上半期 : 11 億 6,900 万ドル）
- アムジェンとアストラゼネカが計上したテゼスパイアの合計売上高は、2024 年上半期に 5 億 700 万ドル（2023 年上半期 : 2 億 5,700 万ドル）

Table 2 : 2024 年第 2 四半期の財務パフォーマンスの主要要素

項目	報告ベース	報告ベース 増減	コア	コア増減	コメント ⁴
売上収益	129 億 3,800 万ドル	実績 13% CER 17%	129 億 3,800 万ドル	実績 13% CER 17%	• 詳細は、本書の Table 1 および売上収益の項を参照
製品売上 総利益率	82%	実績 安定的 CER 安定的	83%	実績 安定的 CER 安定的	• 製品の季節性（例：下半期のフルミストおよびバイフォータス）、為替変動、およびその他の影響により、期間による製品売上総利益率の変動が予想される
研究開発費	30 億 800 万 ドル	実績 13% CER 13%	28 億 7,200 万ドル	実績 12% CER 13%	+ パイプラインへの投資拡大 • コア研究開発費の対売上収益比は 22% （2023 年第 2 四半期：22%）
販売費・ 一般管理費 (SG&A)	49 億 2,900 万ドル	実績 -1% CER 1%	37 億 3,500 万ドル	実績 13% CER 16%	+ 最近発売された製品および発売前製品の 市場開発活動 • コア販売費・一般管理費 対 売上収益比 率は 29% （2023 年第 2 四半期：29%）
その他営業収入 （および費用） ⁵	6,000 万ドル	実績 -92% CER -92%	6,000 万ドル	実績 -92% CER -92%	- 前年同期には、バイフォータスの契約条件更新に関連する利益 7 億 1,200 万ドルが含まれる
営業利益率	21%	実績 安定的 CER +1pp	32%	実績 -6pp CER -5pp	• 粗利益率 、研究開発費、販売費・一般管理費およびその他営業収入（および費用）に関する上記のコメントを参照
純金融費用	3 億 4,300 万ドル	実績 -7% CER -7%	2 億 8,500 万ドル	実績 10% CER 10%	+ 純負債の増加
税率	20%	実績 +7pp CER +7pp	19%	実績 +2pp CER +2pp	• 期間による税率の変動が予想される
EPS	\$1.24	実績 6% CER 15%	\$1.98	実績 -8% CER -3%	• 報告ベースとコアとの差異の詳細は Table 12 に示す

Table 3 : 前回の決算発表以降のパイプラインのハイライト

イベント	医薬品	適応症／試験	イベント
薬事承認およびその他の薬事案件	イミフィンジ	ミスマッチ修復機能欠損を有する原発性進行または再発子宮体がん (DUO-E)	薬事承認 (米国)、CHMP の肯定的見解 (欧州)
	イミフィンジ+リムパーザ	ミスマッチ修復機能正常の原発性進行または再発子宮体がん (DUO-E)	CHMP の肯定的見解 (欧州)
	タグリッソ	EGFRm NSCLC (1 次治療) (FLAURA2)	薬事承認 (欧州、日本、中国)
	トルカブ	バイオマーカー陽性 ER 陽性 HER2 陰性の局所進行性または転移性乳がん (CAPItello-291)	薬事承認 (欧州)
薬事承認申請または受理*	タグリッソ	EGFRm NSCLC (ステージ III、切除不能) (LAURA)	適応追加申請 (sNDA) 受理および優先審査 (米国)
	Dato-DXd	非扁平上皮 NSCLC (2 次および 3 次治療) (TROPION-Lung01)	薬事承認申請 (欧州)
	sipavibart	COVID-19 の予防 (SUPERNOVA)	薬事承認申請 (欧州)
主な第Ⅲ相臨床試験結果およびその他の展開	カルケンス	マンツル細胞リンパ腫 (1 次治療) (ECHO)	主要評価項目達成
	Dato-DXd	局所進行性または転移性 NSCLC (TROPION-Lung01)	2 つの主要評価項目のうち OS は、治療企図解析対象集団で未達成
	エンハーツ	HER2 低発現乳がん (2 次治療) (DESTINY-Breast-06)	主要評価項目達成
	イミフィンジ	筋層浸潤性膀胱がん (NIAGARA)	主要評価項目達成
	イミフィンジ	腫瘍細胞の 25%以上に PD-L1 が発現した早期 NSCLC に対する術後補助療法 (Adjuvant BR.31)	主要評価項目未達成
	トルカブ	局所進行性または転移性 TNBC (CAPItello-290)	主要評価項目未達成
	sipavibart	COVID-19 の予防 (SUPERNOVA)	主要評価項目達成

*米国、欧州および中国の薬事承認申請は申請受理を意味します。

今後のパイプライン進展

最近の臨床試験開始および主要な臨床試験結果の予想時期については、臨床試験付録 (Clinical Trials Appendix) (www.astrazeneca.com/investor-relations.html) をご覧ください。

コーポレートおよび事業開発

2024 年 5 月、アストラゼネカは、抗体薬物複合体（ADC）ポートフォリオの世界供給を強化するべく、シンガポールに 15 億ドルを投じて ADC の製造施設を建設することを発表しました。ADC は、標的因子に結合する抗体を介して、抗腫瘍効果の高い薬物をがん細胞へ直接届ける、次世代の治療法です。シンガポール経済開発庁の支援を受けて計画されている施設予定地には、アストラゼネカ初となるエンドツーエンドの ADC 生産施設が建設され、商業規模で製造プロセスの全工程が完全に組み込まれる予定です。ADC の製造は、抗体の生産、化学療法薬物とリンカーの合成、抗体への薬物-リンカーの結合、完成した ADC 化合物の充填等、複数のプロセスで構成されています。

2024 年 5 月、アストラゼネカは、臨床段階のポートフォリオを持つバイオ医薬品企業である Collectis 社に対して、1 億 4,000 万ドルの追加株式投資を完了しました。2023 年 11 月に発表した投資契約と研究連携契約は、Collectis 社独自のゲノム編集技術および製造力を活用し、がん、自己免疫疾患、希少疾患等アンメットニーズの高い分野で、最大 10 種類もの新規細胞療法および遺伝子治療用製品を設計するという内容です。2023 年第 4 四半期に、Collectis 社はアストラゼネカから 1 億 500 万ドルの頭金を受け取りました。内訳は、共同研究契約の条件に基づく 2,500 万ドルの現金前払金と、8,000 万ドルの株式投資です。1 億 4,000 万ドルの追加株式投資が完了したことで、アストラゼネカは合計で Collectis 社のおよそ 44%の株式を保有します。アストラゼネカは、今後も関連会社として Collectis 社への投資を行う予定です。

2024 年 6 月、アストラゼネカは、次世代放射性コンジュゲートを開発する、臨床試験段階のバイオ医薬品企業、Fusion Pharmaceuticals Inc.の買収を完了しました。今回の買収は、化学療法や放射線療法といった従来のレジメンを、より標的を絞った治療に置き換えることでがん治療や患者さんの転帰を変革する、というアストラゼネカの志を実現させるうえで大きな一歩となりました。今回の買収により、遠隔転移を伴う去勢抵抗性前立腺がん（mCRPC）の患者さんにとって新たな治療法となる可能性のある FPI-2265 を含む Fusion 社の放射性コンジュゲートパイプラインが追加され、アストラゼネカの主要なオンコロジー製品ポートフォリオが補完される予定です。そして、アクチニウムベースの放射性コンジュゲートに関する新たな専門知識と先駆的な研究開発力、製造能力、サプライチェーン能力がアストラゼネカにもたらされます。詳細は注記 5 をご覧ください。

2024 年 7 月、アストラゼネカは Amolyt Pharma 社の買収を完了しました。Amolyt Pharma 社は、希少な内分泌疾患の新規治療の開発を進める、臨床段階のポートフォリオを持つバイオテクノロジー企業です。今回の買収は、重要な eneboparatide（AZP-3601）の追加により、アストラゼネカの希少疾患の後期パイプラインを強化し、骨代謝フランチイズを拡大するものです。eneboparatide は、副甲状腺機能低下症の主要な治療目標を達成するようにデザインされた新規作用機序を有する治療用ペプチドで、現在、第Ⅲ相臨床試験の段階にあります。副甲状腺機能低下症の患者さんでは、副甲状腺ホルモン産生不全によりカルシウムおよびリン酸塩の重大な調節異常が生じ、その結果として、生命を脅かす症状や合併症（慢性腎臓病等）にいたる可能性があります。詳細は注記 7 をご覧ください。

サステナビリティのハイライト

5月にスイス・ジュネーブで開催された第77回世界保健総会において、アストラゼネカは、保健担当大臣、産業界、市民団体、および患者団体と連携し、バイオ医薬品事業部門担当エグゼクティブバイスプレジデントである Ruud Dobber が中心となり、疾患の予防、診断、治療に向けた早期介入を強化することや、強靱かつ公平で脱炭素の保健医療システム構築に向けた協力を加速させていくことの必要性を確認しました。

監査の入札の完了

当社グループの外部監査人に関する監査の入札は、厳格なプロセスを経て完了しました。監査委員会は、2026年12月31日に終了する会計年度の当グループの外部監査人として KPMG を任命することを勧告し、取締役会はこれを承認しました。2026年の年次株主総会（AGM）で株主に議案を提出し、任命の承認を得る予定です。2017年12月31日に終了した年度以降、当社グループの監査人を務めてきた PwC は、2024年および2025年12月31日に終了する年度も引き続き当社グループの監査人を務めた後、当社の2026年のAGM終了時に退任する予定です。

注

頭字語の用語集は、[本文書](#)の最後に掲載しています。

営業および財務の概況

本セクションの成長および業績に関する説明はすべて実際の為替レートに基づいており、財務数値は特に断りのない限り、100 万米ドル（\$m）単位で記載されています。別段の記載がない限り、本発表で示された業績は、2024 年 6 月 30 日までの 6 カ月間（「当半期」または「2024 年上半期」）を対象とし、2023 年 6 月 30 日までの 6 カ月間（「2023 年上半期」）と比較しています。

コア財務指標である EBITDA、純負債、製品売上総利益率、営業利益率および CER は、当社グループの要約連結財務諸表から直接算出できないため、非 GAAP 財務指標となります。経営陣は、これらの非 GAAP 財務指標は、報告ベースの業績と合わせて提供することにより、投資家やアナリストに、当社グループの財務業績や状況を時系列で比較しながらより深くご理解いただくための有益な補足情報を提供するものと考えています。これらの非 GAAP ベースの財務指標は、GAAP に準拠して作成された財務指標に代わるものでも、優先されるものでもありません。

コア財務指標は、以下のような特定の重要な項目を除外するよう調整されています。

- 組織改編に関連する費用および引当金（構造改革プログラムが資産化された IT 資産に及ぼす影響に関連する費用を含む）
- 無形資産の償却および減損（減損の戻し入れを含むが、IT 資産に関連する費用を除く）
- その他の特定項目（主に企業結合の偶発対価に関連する帰属金融費用および公正価値変動、無形資産取得によって生じた特定のその他の支払債務に関する帰属金融費用および再測定調整、法的和解、ならびにアレクシオン社買収によって生じたその他の支払債務に関連する再測定調整）
- 上記の調整による税効果は、コア税金費用から除外

コア財務指標の性質に関する詳細は、[アニュアルレポートおよび Form 20-F Information 2023](#) の 61 ページに記載されています。

[本発表の財務業績の項](#)に記載されている報告ベースの財務指標とコア財務指標の調整表を参照してください。

製品売上総利益率は、製品売上と売上原価との差額を製品売上で除して計算されます。報告ベースの製品売上総利益率およびコア製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益、協業収益および関連費用の影響は除外されており、それにより製品売上の基本的な業績が反映されています。

EBITDA は、報告ベースの税引前利益に合併会社および関連会社から生じた純金融費用ならびに減価償却費、無形資産償却費および減損費用を加算した値と定義されています。[本発表の財務業績の項](#)に記載されている報告ベースの税引前利益と [EBITDA の調整表](#)を参照してください。

営業利益率は、売上収益に対する営業利益の割合と定義されています。

純負債は、現金および現金同等物、その他の投資、ならびに金融派生商品の純額を差し引いた有利子負債およびリース負債と定義されています。本発表の中間財務諸表の[注記 3「純負債」](#)をご参照ください。

当社は、投資家およびアナリストの皆様が単一の財務指標に依存することなく、アストラゼネカの財務諸表（その注記を含む）およびその他の利用可能な当社報告書を注意深く全体的に検討されることを強くお勧めします。

四捨五入の関係で、本発表におけるいくつかのドル数値およびパーセンテージの合計は一致しない場合があります。

売上収益

Table 4 : 治療領域および医薬品別売上収益 ⁶

	2024 年上半期				2024 年第 2 四半期			
			増減 (%)				増減 (%)	
売上収益	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER	100 万 ドル	対合計 (%)	実績	CER
オンコロジー	10,440	41	19	22	5,331	41	15	19
- タグリッソ	3,203	13	10	13	1,608	12	8	12
- イミフィンジ	2,259	9	20	25	1,147	9	13	18
- カルケンス	1,508	6	27	28	790	6	21	22
- リムパーザ	1,450	6	6	9	744	6	4	7
- エンハーツ	932	4	61	62	472	4	46	49
- ゴラデックス	567	2	19	26	282	2	17	25
- イジウド	136	1	35	38	74	1	17	19
- トルカブ	142	1	n/m	n/m	92	1	n/m	n/m
- Orpathys	25	-	14	18	13	-	(5)	(1)
- その他のオンコロジー製品	216	1	(21)	(15)	109	1	(17)	(11)
バイオ医薬品 : CVRM	6,220	24	19	22	3,160	24	18	22
- フォシーガ	3,836	15	35	38	1,945	15	29	32
- プリリンタ	665	3	-	2	342	3	3	5
- クレストール	590	2	1	6	293	2	4	11
- ロケルマ	249	1	26	30	136	1	36	41
- セロケン/Toprol-XL	315	1	(8)	(1)	150	1	(8)	-
- ロキサデュスタット	167	1	22	27	90	1	20	25
- オンデキサ	105	-	18	21	59	-	29	35
- Wainua	21	-	n/m	n/m	16	-	n/m	n/m
- その他の CVRM 製品	272	1	(30)	(28)	130	1	(26)	(24)
バイオ医薬品 : R&I	3,791	15	19	22	1,905	15	23	26
- シムピコート	1,491	6	16	19	722	6	20	25
- ファセンラ	781	3	5	6	423	3	4	5
- ビレーズトリ	454	2	48	51	235	2	44	47
- パルミコート	379	1	10	14	155	1	25	30
- テゼスバイア	280	1	>2x	>2x	160	1	97	>2x
- サフネロー	203	1	77	77	112	1	65	65
- Airsupra	21	-	n/m	n/m	14	-	n/m	n/m
- その他の R&I 製品	181	1	(26)	(25)	83	1	(21)	(19)
バイオ医薬品 : V&I	350	1	(45)	(42)	119	1	(57)	(53)
- ベイフォータス	80	-	>10x	>10x	35	-	>10x	>10x
- シナジス	253	1	(11)	(6)	81	1	(6)	8
- COVID-19 mAbs	3	-	(99)	(99)	1	-	(99)	(99)
- フルミスト	8	-	(34)	(36)	2	-	(84)	(84)
- その他の V&I 製品	6	-	(79)	(80)	-	-	n/m	n/m
希少疾患	4,243	17	11	15	2,147	17	10	14
- ユルトミス	1,804	7	32	35	946	7	33	36
- ソリス	1,439	6	(13)	(8)	700	5	(14)	(8)
- ストレンジック	653	3	16	18	340	3	13	14
- コセルゴ	247	1	55	64	114	1	43	45
- カヌマ	100	-	17	20	47	-	3	8
その他医薬品	573	2	(9)	(2)	276	2	(11)	(5)
- ネキシウム	469	2	(6)	2	227	2	(10)	(3)
- その他	104	-	(21)	(18)	49	-	(16)	(12)
医薬品合計	25,617	100	15	18	12,938	100	13	17

Table 5 : アライアンス収益

	2024 年上半期				2024 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
エンハーツ	683	73	44	44	344	71	35	36
テゼスパイア	180	19	72	72	104	22	67	67
バイフォータス	26	3	n/m	n/m	7	1	n/m	n/m
その他のアライアンス収益	50	5	4	4	27	6	17	17
合計	939	100	50	50	482	100	42	42

Table 6 : 協業収益

	2024 年上半期				2024 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
フォシーガ：販売マイルストーン	49	100	96	96	4	100	>5x	>5x
COVID-19 mAbs : ライセンス料	-	-	n/m	n/m	-	-	n/m	n/m
その他の協業収益	-	-	(98)	(98)	-	-	n/m	n/m
合計	49	100	(78)	(78)	4	100	(98)	(98)

Table 7 : 治療領域別売上収益

	2024 年上半期				2024 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
オンコロジー	10,440	41	19	22	5,331	41	15	19
バイオ医薬品	10,362	40	14	17	5,184	40	15	19
CVRM	6,220	24	19	22	3,160	24	18	22
R&I	3,791	15	19	22	1,905	15	23	26
V&I	350	1	(45)	(42)	119	1	(57)	(53)
希少疾患	4,243	17	11	15	2,147	17	10	14
その他医薬品	573	2	(9)	(2)	276	2	(11)	(5)
合計	25,617	100	15	18	12,938	100	13	17

Table 8 : 地域別売上収益

	2024 年上半期				2024 年第 2 四半期			
	100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	対合計 (%)	増減 (%)	
			実績	CER			実績	CER
米国	10,695	42	18	18	5,571	43	17	17
新興国市場	7,119	28	13	22	3,386	26	9	18
中国	3,378	13	11	15	1,630	13	13	18
中国以外の新興国市場	3,740	15	16	29	1,756	14	5	18
欧州	5,365	21	23	22	2,732	21	24	24
その他既成市場	2,438	10	(5)	4	1,249	10	(5)	6
合計	25,617	100	15	18	12,938	100	13	17

財務実績

Table 9 : 報告損益

	2024 年 上半期	2023 年 上半期	増減 (%)		2024 年 第 2 四半期	2023 年 第 2 四半期	増減 (%)	
	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER
売上収益	25,617	22,295	15	18	12,938	11,416	13	17
- 製品売上	24,629	21,448	15	18	12,452	10,882	14	18
- アライアンス収益	939	627	50	50	482	341	42	42
- 協業収益	49	220	(78)	(78)	4	193	(98)	(98)
売上原価	(4,401)	(3,865)	14	17	(2,183)	(1,960)	11	17
総利益	21,216	18,430	15	18	10,755	9,456	14	17
流通費用	(267)	(265)	1	3	(132)	(131)	1	4
研究開発費	(5,791)	(5,278)	10	10	(3,008)	(2,667)	13	13
販売費・一般管理費	(9,424)	(9,045)	4	6	(4,929)	(4,986)	(1)	1
その他営業収入・費用	127	1,163	(89)	(89)	60	784	(92)	(92)
営業利益	5,861	5,005	17	25	2,746	2,456	12	20
純金融費用	(645)	(654)	(1)	(4)	(343)	(367)	(7)	(7)
合併事業および関連会社	(19)	(1)	n/m	n/m	(6)	(1)	n/m	n/m
税引前利益	5,197	4,350	19	29	2,397	2,088	15	24
税金	(1,089)	(726)	50	62	(469)	(268)	75	90
税率	21%	17%			20%	13%		
税引後利益	4,108	3,624	13	23	1,928	1,820	6	15
EPS (1 株あたり利益)	\$2.65	\$2.34	13	23	\$1.24	\$1.17	6	15

Table 10 : 報告ベースの税引前利益と EBITDA の調整

	2024 年 上半期	2023 年 上半期	増減 (%)		2024 年 第 2 四半期	2023 年 第 2 四半期	増減 (%)	
	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER	100 万 ドル	100 万 ドル	実績	CER
報告ベースの税引前利益	5,197	4,350	19	29	2,397	2,088	15	24
純金融費用	645	654	(1)	(4)	343	367	(7)	(7)
合併事業および関連会社	19	1	n/m	n/m	6	1	n/m	n/m
減価償却費、無形資産償却費 および減損費用	2,534	2,778	(9)	(9)	1,279	1,276	-	1
EBITDA	8,395	7,783	8	13	4,025	3,732	8	14

Table 11 : 報告ベースとコア財務指標の調整 : 2024 年上半期 ⁷

2024 年 上半期	報告ベース	組織改編	無形資産の 償却および 減損	その他	コア	コア 増減 (%)	
	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	100 万ドル	実績	CER
総利益	21,216	36	19	-	21,271	14	17
製品売上総利益率	82%				82%	-1pp	-1pp
流通費用	(267)	-	-	-	(267)	1	3
研究開発費	(5,791)	177	39	5	(5,570)	14	15
売上収益に占める割合	23%				22%	-	+1pp
販売費・一般管理費	(9,424)	138	1,884	254	(7,148)	13	15
売上収益に占める割合	37%				28%	+1pp	+1pp
総事業費	(15,482)	315	1,923	259	(12,985)	13	15
その他営業収入・費用	127	(2)	-	-	125	(89)	(89)
営業利益	5,861	349	1,942	259	8,411	2	7
営業利益率	23%				33%	-4pp	-3pp
純金融費用	(645)	-	-	115	(530)	6	3
税金	(1,089)	(80)	(368)	(71)	(1,608)	13	19
EPS	\$2.65	\$0.17	\$1.01	\$0.20	\$4.03	(1)	5

注 :

- ¹ 恒常為替レート (Constant exchange rates, CER) 。実績増減と CER 増減の差は、2024 年対 2023 年の期間中の為替変動によるものです。CER 財務指標は、報告ベース業績から為替変動の影響を取り除くため、一般に公正妥当と認められた会計原則 (GAAP) に基づく会計処理によるものではありません。
- ² コア財務指標は、特定の項目を除くために調整されています。報告ベースとコア財務指標との差異は、主に、無形資産償却費、減損損失、和解費用および構造改革費用によるものです。報告ベース EPS とコア EPS の調整表は、本資料の業績セクションの Table 11 および Table 12 に記載されています。
- ³ 報告ベースおよびコアの製品売上総利益率の計算では、アライアンス収益および協業収益の影響は除外されています。
- ⁴ Table 2 において、プラスとマイナスの記号は、議論されている項目の方向性の影響を示します。例えば、研究開発費関連のコメントの隣にある「+」記号は、その項目が前年度に比べて研究開発費を増加させたことを意味します。
- ⁵ グループが重要で継続的な経済的利益を保有していない資産および事業の処分による収入は、引き続き当社の財務諸表において「その他営業収入 (および費用)」に計上されます。
- ⁶ Table 4 の表示内容を更新し、売上収益の各数値内にアライアンス収益と協業収益を含めることにより、医薬品別の売上収益を示します。従来の本表では、医薬品および治療領域別の製品売上を示すとともに、当社のアライアンス収益および協業収益については、それぞれの総額を表の下部に個別の行として表示していました。
- ⁷ 本カテゴリー内の項目として重要性が乏しいため、「アレクシオンの買収」の欄を削除し、本表の表示内容を更新しました。